

まちの元気で日本を幸せにする！



PROFILE

Takayuki Seto

- 平成16年4月 総務省採用
- 平成18年4月 自治税務局都道府県税課
- 平成20年4月 山形県総務部市町村課
- 平成22年4月 自治財政局地方債課
- 平成22年4月 地方公共団体金融機構資金部資金課主査
- 平成25年1月 内閣府地域経済活性化支援機構法準備室
- 平成25年4月 現職

■ 仕事の内容

地域の元気創造への取組

グローバル化や人口減少、少子高齢化が進む中で、自立的で持続可能な地域として活力を維持するためには、将来にわたって地域で収益を生んでいく投資が必要です。

そこで、総務省では、「まちの元気で日本を幸せにする！」をミッションとして、「地域の元気創造プラン」を策定しました。

その中で、私が担当している主な業務は、「地域経済イノベーションサイクル」や「分散型エネルギーインフラプロジェクト」に関するものがあります。

いずれも、各地域において、自治体を中心となって、産業界、大学、地域金融機関、地域住民等と連携して行う地域からの経済成長の取組に対して、総務省として、関係省庁とも連携しながら支援するものです。

このように地域の活性化を主な業務とし、対象とする分野は幅広いですが、個人としても、こうしたノウハウを新たに地域活性化に取り組む自治体の相談などにフィードバックしていくことは、非常に意義深いと感じます。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

幅広い業務のフィールド

現在担当している業務は、民間活力を引き出し、地域の経済循環を創造する各地の取組を支援することです。

現状、人口減少下で需要増が見込めない地域で起業する場合、期待される収益率との関係で、初期投資コストの水準によっては、事業化に至らない場合が多いかもしれません。

一方で、あと一步の初期投資の公的支援をすることで、事業自体は市場原理に沿って民間事業者が運営しつつ、地域の資源を用いた事業を通じて、農地・山林の再生や交流人口の増加等のほか、地元雇用の創出や産業界の底上げなど社会的にも望ましい効果を持つ事業の立ち上げが可能となる場合があります。

これまで私は、地方税財政に関する業務などに携わってきましたが、こうしたビジネスプランを支援する実践的な取組を含めて、幅広い業務のフィールドが提供される総務省で仕事ができることは、自らの見識を深めるにあたっても格好の職場と言えます。

■ PRIVATE TIME

休日は、家族とでかけ、子どもと遊ぶことで、自らもリフレッシュを図っています。



とある一週間

■ MONDAY

地域活性化に取り組む自治体からの相談を受けます。

■ TUESDAY

他省庁で開催する会議に出席します。

■ WEDNESDAY

民間コンサルタントと打ち合わせます。

■ THURSDAY

打ち合わせ資料や会議資料を作成します。

■ FRIDAY

地域の取組を勉強するため、現地に訪問します。